

生活協同組合あいコープみやぎ 機関紙

# あいあいあい

生活協同組合  
あいコープみやぎ  
COOP

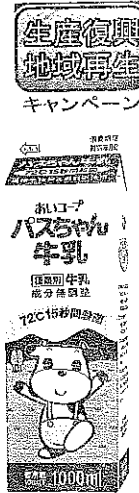
〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会  
〒983-0035/仙台市宮城野区日の出町3丁目番17号  
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973  
http://www.mymma.coop

2012年3月19日号



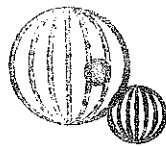
ミルクファーム蔵王の  
小峰社長

1 ミルクファーム蔵王  
**パスちゃん牛乳**  
蔵王の指定酪農家（蔵王 Non-GMO牛乳の会）の原乳を72℃15秒殺菌。搾りたての風味と栄養が生きています。



「定期的な放射能測定を実施し、責任感をもって製造しています。」

3.11大震災と原発事故の影響が続く中、ミルクファーム蔵王は経営理念である「生産者と消費者の架け橋になる」にもとづき、「安全安心」を牛乳・ヨーグルトに託してお届けすることを使命と考え、月2回の放射能測定を原乳で行い、測定結果はホームページで公開しています。



大震災  
あの日から一年

## あいコープふくしまの想い この地に残って暮らしていける 3.11 大震災を忘れない 許せない 原発事故

大震災からまもなく1年になる2月19日（日）共生会総会で、あいコープふくしま佐藤孝之理事長が「3・11後の生協の課題」という題で、生産者に向けて、あいコープふくしまの震災後のあゆみ、現状を報告しました。

福島では「海は知らない」という人はいないが「原発は知らない、許せない」と多くの方が思っており、原発事故はまさに人災であることは明らかです。

原発事故の後、あいコープふくしまでは避難のために脱退が増えていき、危機感が強まりました。その中で放射能の事を勉強し、話し合い、議論を重ねていきました。みんなが避難できるわけではない、残らざるを得ない人が多いという中で「この福島の地で暮らしかない」という結論になっていきます。昨年7月の総代会ではこの言葉が総代会のスローガンになりました。

そのために、あいコープふくしまでは地元の生産者が除染活動に努力し、その努力を組合員に伝えてきました。内部被曝を避けるためにまずは空間線量や土壌の汚染を測ることから始め、放射性物質がゼロに近い食材を供給。また、他方、セシウムに負けない免疫力、体外に排出する力を高める方法を学び、組合員同士の交流を重ねてきました。他の生協からは「がんばってとは言えない、でも負けな

いで」という激励や、子どもたちに布団のプレゼントがあり、励まされ力になりました。

除染の方法は専門家も農家も手探りの状況です。自分達の手で、家、庭、地域を除染する必要があります。水の除染も必要です。ふくしまで暮らす以上必要なものとして、佐藤理事長は「免疫力を高める、防衛力を高める」とし、『食材を柱にした内部被曝を少なく、添加物、農薬、合成洗剤等の発ガン物質を少なくする生協生活の徹底が基本であること、そして、ストレスを小さく、発汗作用、自律神経のコントロールなど「ベターな方法」を積み上げていくことで「福島の地で健康で暮らしていける」と確信を深めました』と。

現在、あいコープふくしまでは政府、東電に対して本当の原発事故の収束、除染、損害への賠償、原発の廃炉等に向けた組合員のハガキ行動、そして、ホールボディカウンター購入を検討中です。

佐藤理事長の話聞き、あいコープの進める生活が、健康で暮らしていくために大切と思いました。また、脱原発に向けて進まなければと改めて決心しました。そのためにも、あいコープふくしまと交流を深めていければと思います。

理事 齋藤郁子

### あいコープアカリダ 3月9日現在

3/28(水) アジアの生産者と私たち  
(フェアトレード学習会)  
場所: エルパ・7仙台セミナーホール  
時間: 10:00~12:00

ATJ(オルタナティブ・トレード・ジャパン) 民衆交易でつながる海外の生産者たちは、日本の皆さんの助けのもと少しずつ自立を目指して奮闘してきています。3.11大震災の際には、被災地へ応援メッセージ、311の支援バナー、義捐金を届けていた生産者、是非、学習会へ参加してください。

3/4(土) 映画上映会  
第4の革命  
場所: Xメディアテーク仙台 7F  
時間: 10:30~ / 13:30~

福島第一原発事故を受け、エネルギー問題に揺れる日本。再生可能エネルギーの100%実現は可能なのか？  
特別価格 500円 (注文) 6700円企画費を必ずお申し込み下さい  
※ 大人も子供も1席500円(託児なし)  
※ 何枚でも申し込み可(チケットはOK)

<上映時間> 10:30~ 000870  
13:30~ 000871

3/15(水) 植田 昭弘 講演会  
場所: エルパ・7仙台セミナーホール  
時間: 10:00~12:00

3/20~21(日) 議案書説明会  
各地で開催

3/21(木) 総代会  
場所: エルパ・7仙台セミナーホール  
時間: 9:45~

外はまだ寒いぞ...

# あついろ!! あいこ-70みぎの 組合員交流会!!

東日本大震災から一年。各地区で開催された組合員交流会。テーマは「3年歩に到達しよう! あいこ-70みぎの到達ビジョン!」被災地生協として、地域社会の中で絆を取り戻しあいこ-70が何かができるのか? 組合員皆でその一歩を踏み出しましょう。



## 青葉A地区 2/20(日)

まず始めに、石けん環境委員会 高崎晴子から、初心者でも楽し始められる「簡単! 石けん生活」について教えていただきました。難しい石けん生活ですが、ちよとした工夫で快適に出来るということ。また石けんは使用後も自然界で分解されて環境にも優しいという事で、私自身も更に石けん生活を進めたいと思いました。続いて3つのグループに分かれて「3年到達ビジョン」について話し合いました。食品の放射能測定の話などで参加者の交流が深まり、それぞれがあいこ-70へ加入という嬉しい報告がありました。 地区委員 相原悦子

## しおさい地区 2/22(水)

インフルエンザが猛威を振るう中、18名が参加しました。脱原発委員からは、出来たてホヤホヤの手作りパンフレットの紹介も兼ねての出前講座。鈴木理事からはあいこ-70のシステムや3年ビジョンの説明。地域サポーターで託児などは出来ないか? などの意見交換も行われました。また鎌田福湖の志熱き14代目、常木郎さんを歓迎し、味噌作りのコツなどを教えていただきました。しおさいならではの明るい笑いの中交流会を終えることができました。 地区委員 高橋綾子

## 若林地区 2/23(木)

六郷市民センターで開催された組合員交流会では、高橋理事を中心に「あいこ-70の3つの基本理念」や「3年到達ビジョン」を参加者で再確認しました。このあいこ-70のサークルでリラックスでは、助産婦さんに楽しいマナーの指導をいただきました。人参とうまいも入りのシフォンケーキと苺を召し食し、リフレッシュしたひとときでした。 地区委員 三浦幸恵

## 泉AB地区 2/4(金)

今回策定された「3年到達ビジョン」について、砂子理事が詳細に説明。震災から一年を経て組合員として、また個人として、突きつけられた厳しい現状にどう向き合えばいいのか? を具体的に示されたことで、これまでの苦難も様々な意味でつなげているのだと再認識でき、無き苦痛を感じるばかりだった毎日に道標が出来たように思います。～布ナフキン入門編～は、布ナフキンへの関心の高さを感心しました。習用している組合員さんが伝えてくれたのは、その心地良さ。そして自分の身体のために向き合うことで生理期間を愛おしく過ごすことが出来た事。身体をリラックスさせ、生理同期までも整えてくれたという体験談には驚きました。 地区委員 本吉尚子

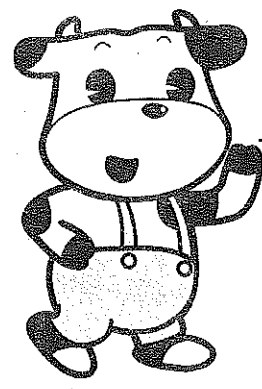
## 子ども達の未来のために 脱原発をすすめる委員会 ミニ出前講座

<組合員交流会に参加して>  
東京電力福島第1原発の事故から1年。皆さん、すでに原発には反対している雰囲気を感心しました。ご自分の庭で栽培している野菜の不安などに対しては、脱原発委員で自らの庭の土を計測した仲間を紹介。冊子の中から3.11石巻で線量が高かったことに不安を感じた方もいました。さらに、生産者の被曝をどう防ぐのか? 代替エネルギーについてはどう考えているのか? など、原発に反対するだけでなく生産者や、今後の生活を考えたご意見もあり、私たちもまだまだ勉強が必要だと新たな緊張を感じた時間でもありました。今回は皆さんに冊子を配ることができて、スタートです。是非ご自宅で読んでいただいていた感想でも疑問点でもどしどしお寄せいただきたいと思います。 地区委員 岡崎今日子

## 特集 3年歩に到達しよう! あいこ-70みぎの3年到達ビジョン

### 理事の語る3年ビジョン! part 5

5. 困った時は お互い様の 地域社会実現!



みんなわたしたちとおしゃべりしに来てロ

家庭的な雰囲気の中で、高齢者と小さな子どもたちが遊んだりおしゃべりしたり、学校帰りの子どもたちも立ち寄ってみたり、火田で無農薬の野菜を作り、電気は太陽光や風力でまかない、ランチはもちろんあいこ-70の食材で... そんな誰もが集える場所が、私達の地域にあれば... と夢が広がっていきます。小さい子供がいる人も、障害がある人も、高齢者の人も誰もが安心して暮らせる地域社会は、あいこ-70設立してからの目標です。そんな社会を作っていくために、できることから始めましょう。 理事 斎藤 郁子

## 名取岩沼亘理地区 2/3(土)

「語りつなぐ3年到達ビジョン! まんま通信ワークショップ」この日は、組合員、地区委員、理事、職員合わせて12名が岩沼中央公民館に集いました。メインは2グループに分かれてまんま通信について語りつなぐワークショップ。自分の大すすめ商品、使い方を知りたい商品などについて思いのまま意見を話し合いました。その中でなるべく農薬を使わずに育った野菜のことや放射能測定のこと、生産者のことなど多くのことを話し合うことができました。まんま通信の中にあいこ-70の理念やお金がつかまっていることを感じてもらえたと思います。 理事 斎藤 郁子

子ども達にどんな未来を残したいか。脱原発パンフレットを作りました。学習会などの場が西川町。是非、ご参加を!!